



京 町

地域を愛し、豊かな人生を歩む

ために学ぶ子どもの育成

《文責》 校長 小西 郁美

■ 平和学習を行いました。…毎年出校日は平和について考えます

第二次世界大戦が終結してから77年目の夏です。

8月6日 広島原爆投下
 8月9日 長崎原爆投下
 8月11日 久留米空襲
 8月15日 終戦

学 年	教 材
1年生	おこりじぞう
2年生	かわいそうなぞう
3年生	伸ちゃんのさんりんしゃ
4年生	つるにのって
5年生	かよこ桜
6年生	ふりそでの少女

■ 京町船太鼓・水天宮船太鼓大活躍です！

7月17日久留米シティプラザで「子ども太鼓フェスティバル」が行われました。本校の卒業生を含む船太鼓のみなさんがザ・グランドホールで見事な演奏を披露してくれました。

また、眞木神社大祭でも本校のみなさんが堂々とした演奏を披露してくれました。



■ 運動場の工事に入りました。

7月下旬より、本校の運動場と駐車場の工事が始まりました。工事期間は、令和5年2月末までを予定しています。主な工事の内容は、運動場の排水関係、遊具の設置、緑化（学校菜園を含む）、駐車場の整備などです。

再度運動場がない期間が始まってしまいました。お子様の外遊び時間を確保するため、2学期は月に1回は、体育の授業の一環とし遠足などで屋外にて過ごす時間を設定するなど、お子様が体を十分に動かすことができるように、教育課程を工夫していきます。



ごいけん おこたえ ■ご意見にお答えいたします。

通知表作成週間があったのに、
所見が書かれていないのはおかしい。



ご指摘ありがとうございます。令和4年度1学期は、本校では初めて、個人面談を実施させていただき、2年生から6年生までを通知表の総合所見に換えさせていただきました。通知表に所見が書かれていることが当たり前である状況が数十年と続いてきておりましたので、変更戸惑われたり、また所見がないことでお子様がさみしいと思われたりということも学校としても重々理解しております。ご迷惑をお掛けしております。

本校の職員の勤務状況についてお知らせいたします。職員の勤務時間は、8:20～16:50です。休息時間が13:05～13:30と16:00～16:20の計45分間です。子ども達は5時間授業の時は14時45分くらいに、6時間授業の時は、15時40分くらいに下校します。子ども達が下校した後から16時50分までの時間（40分間から100分間）で、翌日の授業の準備や次週の時間割作成、保護者との電話対応、さらに時期によっては通知表の作成、学級費会計の決算などを行うこととなります。当然として、これだけの仕事が、1時間前後では終わりませんので、学校は職員のために19時まで開けており、多くの職員が実際19時まで残って仕事をしています。

この結果、毎日の超勤が16時50分～19時までの、2時間10分となります。これが20日間続きます。本校のほとんどの職員の超過勤務時間は、毎月約45時間です。教職員調整手当が月5～8時間程度付きますが、所謂残業手当は教員にはありません。現在、ネットのニュースなどで、学校はブラック企業のようなと言われてしまうのは、このあたりの事情だと推察します。

しかし、本校職員は（もちろん他校の先生方も）子どものためなら何とかしようという強い気持ちを持っています。子ども達の成長に係わらせていただくことを喜びとしており、そのことを自分の人生の生業としておりますので、毎日の超過勤務もいとわず行っています。嫌そうに働いている職員はおりません。

ただ、やはり限界はあります。上記のご意見にありますように、通知表作成週間でも面談を行い、成績を付け、さらに「所見を書く」ことは結果的に超過勤務を増やすこととなります。超過勤務をできるだけ削減し、担任の心身の健康を保つことは、ひいてはお子様の毎日の授業の充実につながることをご理解いただけますと大変ありがたく思います。

本校の職員にも、本校が働き方改革を進めるのは、結果的に「子ども達の幸福度を増すためです」と説明しています。

京町小学校は、令和2年度は、超過勤務が月130時間を越す教員（過労死ラインは月80時間以上の時間外労働）が5名以上いました。令和4年度は、超過勤務は平均で月45時間程度です。保護者の皆様のご協力でわずか2年で3分の1まで削減できました。

今後も、保護者の皆様のご理解とご協力をいただきながら、業務の精選に努め、担任の心身の健康を維持し、結果的にそれがお子様の毎日の学習の充実や学校生活の充実につながるよう努めて参ります。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。